

三浦一馬

バンドネオン・コンサート

リベルタンゴ/ピアソラ

オブリヴィオン/ピアソラ

ブエノスアイレスの冬/ピアソラ

and more....

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

共演：長富彩（ピアノ）



2022年6月19日(日) 14:00 開演 (13:20開場)

名寄市民文化センター EN-RAY ホール (北海道名寄市西 13 条南 4 丁目 2 番地)

2022年4月12日(火) チケット販売開始 **全席指定席** 一般 1,000 円 / 高校生以下 (名寄大生) 500 円

※当ホールでは公演の開催にあたりまして、感染拡大防止に細心の注意を払い、対応に最善を尽くして参ります。
発熱や風邪の症状がある方はご入場をお断りいたします。左記症状等により鑑賞を自粛（感染症対策にご協力いただいた）場合は
払い戻しいたします。7月8日までに下記へお問合せください。

※当日は 200 円増 / 未就学児入場不可
※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。
※本コンサートは（公財）三井住友海上文化財団の助成により
特別料金に設定しています。

EN-RAY 倶楽部会員割引対象公演

EN-RAY 倶楽部会員は 1 枚に限り 100 円引き
購入時には会員証をご提示ください。

名寄大生割引

名寄市立大学生はチケット購入時に学生証を提示すると、
高校生以下の料金 (500 円) で購入できます。

プレイガイド

EN-RAY ホールチケットセンター
ローソンチケット (L コード : 11788)

お問合せ EN-RAY ホールチケットセンター TEL: 01654-3-3333 (9:00~19:00 休館日 3/31・4/28・5/31)

賛助出演：名寄高等学校吹奏楽部

主催 / 名寄市教育委員会、北海道、(公財) 三井住友海上文化財団

主管 / 名寄市公民館、なよろ舞台芸術劇場実行委員会

三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第936回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。



三浦 一馬 Kazuma Miura

バンドネオン / Bandoneon

10歳より小松亮太のもとでバンドネオンを始める。

2006年、別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、現在に至るまで師事。

2008年イタリアで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで、日本人初・史上最年少で準優勝を果たす。

第25回(2014年度)出光音楽賞受賞。「題名のない音楽会」「トップランナー」「あさイチ」「大沢悠里のゆうゆうワイド」「安住紳一郎の日曜天国」などメディア出演も多数。

2007年、井上道義(指揮) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演(マルコーニ作曲のバンドネオン協奏曲・日本初演)をもってオーケストラ・デビュー。以後、NHK 交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、札幌交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢など主要なオーケストラと共演を重ねている。

2017年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を結成。2021年、ピアソラ生誕100年に合わせ、東京グランド・ソロイストとしての初音源・最新盤「ブエノスアイレス午前零時」をリリース。同時にピアソラ・イヤーを記念した全国ツアー公演を開催。2021年、NHK 大河ドラマ「青天を衝け」大河紀行の演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、1938年製 Alfred Arnold。



長富 彩 Aya Nagatomi

ピアノ / Piano

2005年に東京音楽大学付属高等学校を主席で卒業。同年よりハンガリー国立リスト音楽院にて、バルトークやリストの研究者で世界的に著名なジョルジュ・ナードルに師事。

2008年より米国に拠点を移して演奏活動を開始。同年、ニュージャージー州・プリンストン大学でのシンポジウムに奨学生として参加し、エドナ・ゴランスキーにタープマン奏法を学ぶ。2009年、NYのスタインウェイホールにてリサイタルを行い満席となった。

2014年11月にはYouTubeで200万再生を超えた「ラ・カンパネラ」(現在360万回突破)を含むDVD『AYA NAGATOMI IN CONCERT』をリリース。

最新盤は2019年タカギクラヴィアよりリリースした『Aya Nagatomi plays Chopin』(レコード芸術誌・特選盤)。

これまでに上海クアルテット、ウェールズ弦楽四重奏団、コロネりか等と共演。神奈川フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、大阪交響楽団と協奏曲を共演し、いずれも好評を博している。

近年は作曲家の生涯を題材にした講座形式のコンサートを行うほか、ラジオのパーソナリティも務めるなど、演奏活動と並行してクラシックをより多くの人に届けるための活動も行っている。

2021年秋にビクターよりラヴェルのCDをリリース。

